

抱える課題

人口減少と高齢化が進み公共交通の必要性は増加することが推測されるなか、JR線の減便やバス路線の縮小のほか、公共交通空白地の未解消や運転手等の担い手不足など、主に高齢者の日常生活における移動手段の確保は喫緊の課題となっています。現在行っている路線バスの運行維持や、デマンドタクシーの運行といった既存の取組だけでは、地域住民等の移動ニーズに対応した利便性の高い公共交通の維持は難しいことから、自家用有償旅客運送などの新たな形の公共交通の導入も積極的に検討し、実施していくことが必要となっています。



プロジェクト概要

新たな形の公共交通の導入のほか、デジタル技術の活用などにより、より効率的で利便性の高い公共交通網の形成を目指すとともに、公共交通における課題を地域全体で認識し、課題解決に向けた取組を行うことを目的に下記事業を実施します。

1. 移動手段の確保及び利便性の向上
 - ・自家用有償旅客制度に基づく公助型公共交通の運行導入
 - ・デジタル技術の活用による利便性の向上
2. モビリティ・マネジメントの推進
 - ・持続可能で利便性の高い交通網の形成に向けた検討
 - ・公共交通の利用促進に向けた取組



寄附企業様へ

いただいたご寄附は、下記事業に使わせていただきます。

- ・自家用有償旅客制度に基づく公助型公共交通の運行導入
- ・夜間における移動手段の確保
- ・デマンドタクシーにおける運行管理システムの導入
- ・公共交通を利用したお出かけツアーの実施
- ・モビリティ・マネジメントに関するセミナーの実施
- ・公共交通を利用したおすすめお出かけプランの作成

また、本プロジェクトに対する様々な意見やアイデアをいただき、魅力ある地域づくりにご協力ください。

